



登別市議会議長

くまのまさひろ
熊野正宏

明けましておめでとうございます。

市民のみなさまにおかれましては、お健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

旧年中は、議会活動につきまして、特段のご理解とご協力を賜り、感謝とお礼を申し上げます。

昨年は、かつて経験をしたことがない出来事が相次ぎ、新世紀は激動のなかでのスタートとなりました。

さて、地方分権時代を迎えた今日、地方自治体においては、低迷する経済情勢をはじめ厳しい財政環境、少子高齢化の進展、国際化や情報化への対応などの課題が山積しております。

私たちのふるさと登別市を将来にわたり明るく住みよいまちとして発展させていくためには、行政、議会と市民のみなさまが共に知恵を出し合い、一丸となって自主・自立のまちづくりを進めていかなければならないと考えております。

登別市議会といたしましても、議会だよりやホームページによる積極的な情報提供に努め、開かれた議会を目指すとともに、議会の機能と権能を十分発揮して、明るく希望に満ちた活力ある郷土を築くため、全力を尽くす決意でありますので、一層のご理解とご支援をお願いいたします。

この一年が、みなさまにとってよりよい年になりますよう、心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。



登別市長

うえのあきら
上野晃

新年明けましておめでとうございます。

市民のみなさまには、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、地方分権時代を迎え、市民参画によるまちづくりを進めるには、行政と市民のみなさんがさまざまな情報を共有し、活用できる環境が求められています。

市は、昨年から高度情報化社会に対応する基盤整備に着手し、11月には、その中核施設ともいえる『地域情報センター』を開設しました。本年3月までには、市内の小中学校をはじめ37カ所の公共施設などを光ファイバーで結ぶ工事が完了し、大量の情報を高速で受発信することができます。市は、このネットワークを用い、たくさんの市政情報をお知らせしたり、教育や福祉の増進などに活用したいと考えています。

また、この春には、鉾山町に自然体験学習の拠点施設がオープンします。自然観察や野外活動を通じて、子どもたちの健全育成に役立てるとともに、しばし自然の中に浸って心身のリフレッシュなどに活用されるよう望みます。

厳しい財政状況が続く中、力を合わせて登別にふさわしいまちづくりを進めるため、本年もご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、みなさまにとって幸多い年となりますようご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

